

乳頭温泉郷

ウォーキングマップ

Nyuto Onsen-kyo WALKING MAP

花の名山・秋田駒ヶ岳や乳頭山、清冽な水をたたえる川、木漏れ日がまぶしいブナの森、静まり返ったの雪の木立……。本格的な登山から、ほどよい運動とリラクスのためのウォーキングも満喫できる乳頭温泉郷。ゆっくり歩いて、温泉につかって、体に元気をあげよう！

ツアールの森

鶴の湯から鶴の湯別館山の宿へと続く散策路。ブナの純林やカエデ、ミズナラ、タケカンバなどが生い茂ります。ドイツ大使館のカールツアール氏がこの森を訪れたとき、その植生の豊かさや変化に富んだ風景を絶賛したというエピソードにちなみ、「ツアールの森」と名付けられました。気軽に森林浴が楽しめるスポットです。

まずは気軽に森林浴

山歩きはしたいけれど体力が心配、という人は、まずは、宿周辺のウォーキングにチャレンジ。美しいブナの純林や渓谷、湿原などいろいろな自然のシーンとの出会いが待っています。

① 鶴の湯旧道コース

休憩村乳頭温泉郷・バス停「鶴の湯旧道入口」・鶴の湯峡・ツアールの森・鶴の湯
ブナの純林の小径や深いエメラルドグリーンが印象的な鶴の湯峡、ツアールの森など、マイナスイオン効果でリフレッシュするコースです。旧道入口から鶴の湯峡までは約15分。途中には道幅が狭く急な斜面もあります。時間に余裕をもってチャレンジしましょう。

② 鶴の湯入口-鶴の湯コース

バス停「鶴の湯温泉入口前」・ブナの森清水・鶴の湯別館山の湯
ツアールの森・鶴の湯

鶴の湯温泉入口前のバス停から鶴の湯までは車で約10分。徒歩なら約50分ほどの距離です。途中で澄んだ水が湧くブナの森清水やミズバショウの群落もあり、5月上旬には可憐なミズバショウの姿が楽しめます。

③ 湯めぐりコース

休憩村乳頭温泉郷・黒湯温泉・孫六温泉・大釜温泉・蟹場温泉・妙乃湯・休憩村乳頭温泉郷
県道や林道、溪流沿いの道を散策しながら6つの温泉をめぐるコース。砂防ダムの小さな滝を見たり、ブナの純林の林道を通り抜けたりと清涼感たっぷりの周回コースです。コースの近くには可憐な湿原植物が咲く空吹湿原もあります。

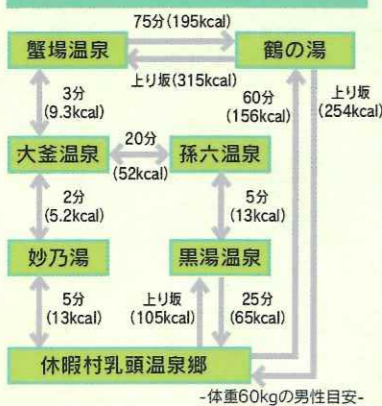
④ 自然の小径 [自然観察コース]

休憩村乳頭温泉郷・空吹湿原・黒湯温泉
気軽に自然に親しんでいただくために整備された歩道を進み、湿原のお花畑をめぐるコースです。行きは自然の小径を歩き、帰りは黒湯温泉—休憩村乳頭温泉郷間のブナの森の林道(約1km)を歩く、約60分の周遊コースにもなります。

⑤ 鶴の湯入口-蟹場コース

鶴の湯・鶴の湯神社・鶴の湯温泉登山口・駒見峠
駒ヶ岳田沢湖展望台・ブナの森台・蟹場温泉
鶴の湯の西側、尾根づたいに歩くコースです。正面に秋田駒ヶ岳、右手には山合いに湖面をのぞかせる田沢湖が眺められる駒見峠や展望台は小休止スポットです。

ウォーキング カロリー消費目安



田沢湖高原温泉郷

ご希望の方は、各宿でお水を入れることができます。



乳頭山日帰りハイキング

乳頭山は標高1,477.5m。途中ブナの純林に囲まれた急な登りがありますが、比較的歩きやすく、登山初心者やファミリーでも安心してハイキングが楽しめます。山頂は岩石に覆われ、東側は絶壁。ぐるり360度の眺望が見事です。

⑥ 蟹場温泉口

蟹場温泉・田代平・田代平山荘・乳頭山頂
高層湿原植物の宝庫田代平を通り抜け、途中で孫六温泉口の登山道と合流。田代平山荘で一息ついて頂上へ。乳頭山への3つのルートの中では一番距離のあるコースです。

⑦ 孫六温泉口

孫六温泉・田代平・田代平山荘・乳頭山頂
温泉の裏手から登り、田代平の中間に出て、田代平山荘で一息ついて頂上へ。利用者が多く、同温泉の先代が開き、孫六新道と親しまれるルートです。

⑧ 黒湯温泉口

黒湯温泉・一本松温泉跡・乳頭山頂
先達川や沢に沿って登り途中、天然の露天風呂がある一本松温泉跡を経由して乳頭山頂へ。急な登り道が多いルートですが、最短で登れるルートです。

花のシーズンに歩きたい駒ヶ岳登山コース

花の百名山に名を連ねる駒ヶ岳。標高1,637.4m。数え切れないほどの高山植物が登山道のすぐそばでその姿を披露してくれます。ここでは、乳頭温泉郷から直接山頂を目指すコースをご紹介します。
※6月～10月までは、マイカー規制があります。規制期間中、田沢湖高原温泉郷・アルパこまきから八合目まで路線バスが運行されます。

⑨ 笹森山コース

乳頭スキー場跡・笹森山・八合目・駒ヶ岳頂上
山登りを楽しく健脚向けのコース。起点となるスキー場から笹森山までは約120分。さらに八合目まで約40分。八合目から駒ヶ岳山頂や阿弥陀池へは3つのコースが選べます。

● シーズンカレンダー

